

行事案内 Part 1



7月歴史文化クラブ研修会ご案内

7月の研修は、下界の暑さを避け、「最澄と南都仏教」をテーマとして掲げ、比叡山延暦寺を中心とした伽藍の見学・研修を行います。

西大寺駅南口を出発。京奈和自動車道から京都府宇治田原町に向かいます。普段あまり利用しない経路ですが、滋賀県の信楽や大津への抜け道やメイン道路として古代から重宝されてきました。特に徳川家康の伊賀越えの道として、また日本緑茶発祥の地としてつとに有名な地でもあります。

今回は南山城六山の一つ、禅定寺に立ち寄り、茅葺の本堂や重文「十一面観音菩薩像」などのすばらしき仏たちに相まみえます。

その後、この道を大津の坂本まで走り、最澄の誕生寺と伝えられる生源寺や信長の安土城の石垣を築いた穴太衆の積み石垣のある「滋賀院門跡」を訪れます。そしてここから比叡山ドライブウェイを比叡山山頂まで登り、延暦寺東塔地域へ。ここは1200年前、最澄が山上に草庵を結んで以来、多くの高僧を輩出してきた場所でもあります。

今回は仏教誕生と大乘仏教、南都仏教と最澄、などについて学び、併せて中心となる根本中堂などを見学し、昼食をとる予定です。そしてさらに西塔地域見学の後、横川地域へ。ここも円仁によって開かれた比叡山の3つの中心伽藍の一つで、源信・日蓮・親鸞・道元など名僧が修行に入り育っていった場所でもあり、今回は中心となる横川中堂を見学します。その後は高速道路を経て大和西大寺に帰着します。

《実施要領》

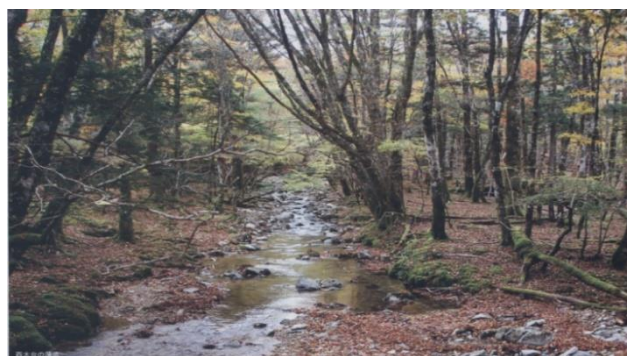
1. 日時：7月10日(火) 8:00~17:30
雨天決行(マイクロバス27人乗り)
2. 集合場所：近鉄西大寺駅南口 8時出発
3. 参加費：4000円(延暦寺拝観料600円含)
4. 持ち物：弁当、飲み物、雨具、暑さ対策
5. 担当世話人：羽尻 嵩・八木 順一

8月 月例研修会ご案内

吉野熊野国立公園大台ケ原は、トウヒやブナ林など、紀伊半島では少なくなつた貴重な森林生体系が残る地域です。トウヒ群落を主とする「東大台」に対し「西大台」はウラボミブナ群落が主となっており、静寂で原始的な雰囲気を経験できる地域となっています。

しかし現在、大台ケ原はさまざまな要因により森林などの衰退が進んでおり、西大台地区においてもその兆候がみられることに加え、今後の利用者の増加によるさまざまな影響が懸念されています。

そこで、西大台の美しい自然環境を守り、将来にわたり静寂で、豊かな自然を多くの方に楽しんでいただけるように、西大台地区は利用調整地区に指定されており、事前の手続きが必要です。3か月前に入山申し込みをし、団体の場合10名を1グループとして1人1000円の入山料を払って立入認定証をもらい、当日立入認定証をつけて、大台ケ原ビジターセンターで事前レクチャーを受講してからの入山になります。



《実施要領》

1. 日時：8月7日(火) AM7時出発
雨天決行(マイクロバス27人乗り)
2. 集合場所：近鉄奈良駅東 商工会議所前
3. 会費：5000円(入山料1000円を含む)
4. 行程：商工会議所→道の駅、杉の湯→大台ケ原→レクチャー→西大台→大台出口→近鉄奈良
5. 持ち物：
弁当、飲み物、雨具、登山靴、ストック
6. 担当者：中井 弘・永井 幸次・富井 忠雄